



令和2年12月18日
第十管区海上保安本部

海域火山監視観測結果について

第十管区海上保安本部は、航空機による管内の主な海域火山の監視観測を実施し、防災のための基礎資料とするほか、火山噴火予知連絡会に情報提供を行っています。

12月17日(木)、京都大学防災研究所火山活動研究センター井口正人教授の協力のもと、当本部鹿児島航空基地所属航空機を使用して海域火山監視観測を実施しましたので、この結果をお知らせします。

1. 観測概要

実施日時：令和2年12月17日(木) 午前10時40分から午後2時30分

観測対象：桜島、開聞岳、薩摩硫黄島、口永良部島、口之島、中之島、
諏訪之瀬島、悪石島、上ノ根島、横当島

活動状況：別紙のとおり(噴火警戒レベル2以上の火山の撮影写真)

2. 観測結果(井口教授の所見)

今回の航空機による目視観測では、桜島、諏訪之瀬島の噴火活動が活発であることと、薩摩硫黄島は白色噴煙活動が活発であることが確認できた。口永良部島は天候が悪く活動を目視することができなかった。

桜島：南岳A火口及びB火口は白色噴煙が活発な状況であった。火口底は目視できたが溶岩までは目視できなかった。昭和火口は火口内部から少量の噴気が数カ所目視できた。北岳火口に特段の異常は見られなかった。

薩摩硫黄島：硫黄岳山頂は白色噴煙が多く活発であった。山腹の噴気も活発であった。

口永良部島：天候が悪く目視できなかった。

口之島：燃岳の噴気孔から少量の噴気を目視した。

中之島：御岳火口及び北東山腹に白色噴気を目視した。火口内部は目視できなかった。

諏訪之瀬島：御岳火口は連続的に火山灰を噴出していた(連続噴煙活動)。火口内に大量の火山灰が堆積している。

開聞岳、悪石島、上ノ根島、横当島：特段の異常は見られなかった。

【桜島】 南岳山頂火口（A火口、B火口）及び昭和火口を南方から撮影
（令和2年12月17日14時12分）

- ・南岳A火口及びB火口は白色噴煙が活発な状況であった。
- ・火口底は目視できたが溶岩までは目視できなかった。
- ・昭和火口は火口内部から少量の噴気が数カ所目視できた。
- ・北岳火口に特段の異常は見られなかった。



南岳山頂火口

昭和火口

【薩摩硫黄島】 硫黄岳を北東方から撮影（令和2年12月17日11時44分）
硫黄岳山頂は白色噴煙が多く活発であった。山腹の噴気も活発であった。



【口永良部島】 口永良部島を東方から撮影（令和2年12月17日11時56分）
天候が悪く目視できなかった。



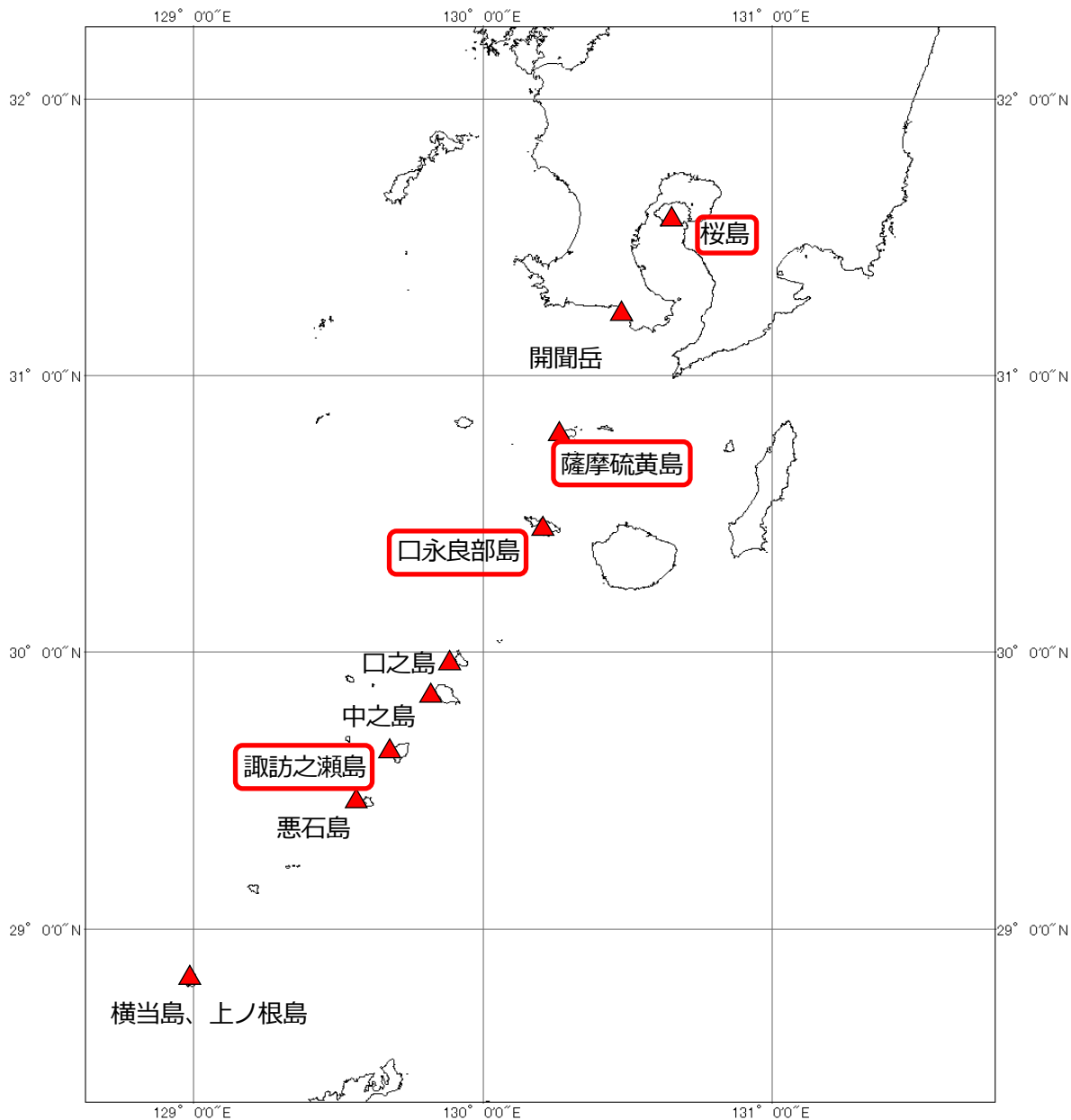
【諏訪之瀬島】 燃岳火口付近を北西方から撮影（令和2年12月17日12時34分）

- ・ 御岳火口は連続的に火山灰を噴出していた。（連続噴煙活動）
- ・ 火口内に大量の火山灰が堆積している。



監視観測を実施した海域火山

(令和2年12月17日 実施)



噴火警戒レベル2以上の火山